



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 日本高純度化学
コード番号 4973 URL <http://www.netipc.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 茂樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 内田 薫
四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 03-3550-1048
平成23年11月25日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,284	△1.2	701	△9.0	730	△7.8	350	△25.0
23年3月期第2四半期	5,350	43.6	771	14.9	792	13.6	468	12.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5,701.62	5,700.95
23年3月期第2四半期	7,605.91	7,604.31

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,803	6,974	88.4
23年3月期	7,960	7,008	87.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,901百万円 23年3月期 6,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4,000.00	—	4,000.00	8,000.00
24年3月期	—	4,000.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4,000.00	8,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,349	△1.9	1,440	△1.0	1,475	△1.5	795	△10.2	12,919.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	63,130 株	23年3月期	63,130 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,597 株	23年3月期	1,597 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	61,533 株	23年3月期2Q	61,533 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 平成23年4月25日に公表いたしました通期業績予想数値を今回上記のとおり変更しております。
 - (2) 業績予想の背景、前提条件等の説明につきましては、3ページ記載の「1. 当期四半期決算に関する情報（4）業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
 - (3) 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。
 - (4) 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。
- 平成23年10月27日（木）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	2
（3）業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
3. 四半期財務諸表	6
（1）四半期貸借対照表	6
（2）四半期損益計算書	7
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	8
（4）継続企業の前提に関する注記	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
（6）重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績の概要は以下の通りであります。

当期のわが国経済は、東日本大震災による景気の急激な落ち込みから回復に転じたものの、電力不足はじめ供給制約から景気の足取りは鈍く、加えて欧州債務危機と新興国の金融引締めで世界景気にも陰りが出始め、急激な円高で輸出が鈍化するなど、厳しい環境が続きました。リーマンショックから3年、国際金融危機第二幕の様相を深める中で、世界同時株安にも見舞われました。

電子部品業界におきましては、7月からの欧米における経済の失速、消費の低迷を受けて、一部のスマートフォン向けを除けば、携帯電話、パソコン、液晶テレビ向けなどの半導体や電子部品の需要は失速し、過剰在庫リスクから生産量は低迷しました。

当社におきましては、携帯電話用およびスマートフォン用高精細コネクタ向けの硬質金めっき薬品、鉛フリー対応リードフレーム向けの電解パラジウムめっき薬品については、市場競争力と顧客のニーズに支えられ、これらの販売は堅調に推移しました。しかしながら、従来から半導体パッケージ基板に用いられていた金めっき薬品については、金価格高騰に伴うユーザーの金節約志向および生産調整による需要減の影響を受け、販売は低迷しました。

その結果、売上高は5,284,437千円（前年同四半期累計期間比1.2%減）、営業利益は701,335千円（前年同四半期累計期間比9.0%減）、経常利益は730,641千円（前年同四半期累計期間比7.8%減）、四半期純利益は350,837千円（前年同四半期累計期間比25.0%減）となりました。

なお、保有有価証券のうち時価が著しく下落したものについて投資有価証券評価損149,978千円を特別損失として計上しております。

売上高の用途品目別内訳は、プリント基板・半導体搭載基板用1,433,867千円、コネクタ・マイクロスイッチ用1,419,278千円、リードフレーム用1,649,873千円、その他781,418千円であります。

（2）財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の増減

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて176,262千円増加し、5,859,704千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が365,300千円減少、原材料が40,243千円減少したものの、現金及び預金が581,856千円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べて333,620千円減少し、1,943,518千円となりました。これは主に、繰延税金資産が68,463千円増加したものの、投資有価証券が389,173千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて157,357千円減少し7,803,222千円となりました。

（負債）

流動負債は前事業年度末に比べて99,122千円減少し、619,749千円となりました。これは、主に買掛金が43,075千円減少、未払法人税等が54,320千円減少したことなどによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べて24,482千円減少し208,975千円となりました。これは、主に役員退職慰労引当金が11,790千円増加したものの、繰延税金負債が36,390千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて123,605千円減少し、828,724千円となりました。

（純資産）

純資産合計は前事業年度末に比べて33,752千円減少し、6,974,498千円となりました。これは、主に利益剰余金が104,705千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が145,568千円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ581,856千円増加し2,927,016千円（前年同四半期は2,594,457千円）となりました。なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純利益は580,536千円となりましたが、売上債権の減少による資金の増加365,300千円、投資有価証券評価損149,978千円、法人税等の支払による減少281,959千円などにより、営業活動により獲得した資金は847,679千円（前年同四半期は209,280千円の使用）となりました。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資有価証券の取得による支出6,241千円、無形固定資産の取得による支出6,523千円、有形固定資産の取得による支出5,375千円などにより、投資活動に使用した資金は19,691千円（前年同四半期は206,903千円の使用）となりました。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

配当金の支払246,132千円により財務活動に使用した資金は246,132千円（前年同四半期は246,132千円）となりました。

（3）業績予想に関する定性的情報

第2四半期は、投資有価証券に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落しその回復が認められないものについて減損処理による有価証券評価損149百万円を計上する必要が生じたため、これを特別損失に計上いたしました。通期業績予想につきましては、スマートフォン向け新製品の伸長期待、ユーザー段階での在庫調整の終息等の増加要因はあるものの、世界景気の陰り及びタイの洪水の影響等、予想される外部環境の変動を考慮した結果、下記のとおり、当初予想を修正致しました。

平成24年3月期通期業績予想（非連結）の修正

（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	10,150	1,440	1,475	885	14,389円03銭
今回修正予想（B）	10,349	1,440	1,475	795	12,919円90銭
増減額（B－A）	199	—	—	△90	—
増減率（％）	2.0	—	—	△10.2	—
（ご参考） 前期実績（平成23年3月期）	10,553	1,455	1,497	885	14,389円03銭

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,345,912	3,927,769
受取手形及び売掛金	2,020,663	1,655,362
商品及び製品	65,245	69,441
原材料及び貯蔵品	161,698	121,455
その他	89,921	85,676
流動資産合計	5,683,441	5,859,704
固定資産		
有形固定資産	70,238	62,155
無形固定資産	73,318	69,361
投資その他の資産		
投資有価証券	2,100,873	1,711,700
その他	32,708	100,300
投資その他の資産合計	2,133,582	1,812,000
固定資産合計	2,277,139	1,943,518
資産合計	7,960,580	7,803,222
負債の部		
流動負債		
買掛金	297,966	254,891
未払法人税等	288,472	234,152
賞与引当金	66,000	66,000
その他	66,432	64,705
流動負債合計	718,871	619,749
固定負債		
繰延税金負債	36,390	—
資産除去債務	23,787	23,905
役員退職慰労引当金	173,280	185,070
固定負債合計	233,457	208,975
負債合計	952,329	828,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,279,182	1,279,182
資本剰余金	1,022,894	1,022,894
利益剰余金	4,882,117	4,986,823
自己株式	△421,730	△421,730
株主資本合計	6,762,464	6,867,170
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	179,448	33,880
評価・換算差額等合計	179,448	33,880
新株予約権	66,337	73,448
純資産合計	7,008,250	6,974,498
負債純資産合計	7,960,580	7,803,222

（2）四半期損益計算書
第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
売上高	5,350,746	5,284,437
売上原価	4,113,979	4,092,793
売上総利益	1,236,766	1,191,644
販売費及び一般管理費	465,307	490,309
営業利益	771,459	701,335
営業外収益		
受取利息	560	308
受取配当金	18,801	24,215
有価証券利息	3,135	3,135
その他	528	1,859
営業外収益合計	23,026	29,518
営業外費用		
為替差損	1,821	211
その他	11	—
営業外費用合計	1,832	211
経常利益	792,653	730,641
特別利益		
新株予約権戻入益	4,503	—
特別利益合計	4,503	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	149,978
固定資産除却損	29	126
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19,393	—
特別損失合計	19,422	150,105
税引前四半期純利益	777,733	580,536
法人税、住民税及び事業税	307,157	230,925
法人税等調整額	2,561	△1,226
法人税等合計	309,719	229,699
四半期純利益	468,014	350,837

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	777,733	580,536
減価償却費	24,668	19,256
投資有価証券評価損益（△は益）	—	149,978
受取利息及び受取配当金	△22,497	△27,658
売上債権の増減額（△は増加）	△486,273	365,300
たな卸資産の増減額（△は増加）	△105,195	36,047
仕入債務の増減額（△は減少）	66,869	△43,075
その他	15,746	24,348
小計	271,051	1,104,733
利息及び配当金の受取額	20,041	24,905
法人税等の支払額	△500,373	△281,959
営業活動によるキャッシュ・フロー	△209,280	847,679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,475	△5,375
投資有価証券の取得による支出	△172,299	△6,241
その他	△31,128	△8,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,903	△19,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△246,132	△246,132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△246,132	△246,132
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△662,315	581,856
現金及び現金同等物の期首残高	3,256,773	2,345,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,594,457	2,927,016

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

当第2四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（自己株式の取得）

当社は、平成23年10月26日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る決議をいたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため。

2. 取得に係る事項の内容

（1）取得対象株式の種類

普通株式

（2）取得し得る株式の総数

2,000株（上限）

（発行済み株式総数（自己株式を除く）に対する割合 3.25%）

（3）株式の取得価額の総額

500,000,000円（上限）

（4）取得期間

平成23年10月27日より平成24年3月23日まで

（5）取得方法

東京証券取引所における市場買付け